

事務事業評価表

平成13年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8373
担当部課名	土木部	土木計画	課	道路計画
事務事業名	道路整備10ヶ年計画策定事業		事業コード	32120

1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	質の高い都市基盤の整備を進めます。	事業開始年度
基本施策名	第1節	骨格幹線道路網の整備	9
施策名	第2施策	市内幹線道路の整備	年度

2 実施根拠及び関連法令等

建設省通達(平成9年4月30日) 「道路の整備に関するプログラム」の策定について

3 事業概要

(1) 事業の目的 計画的・効率的な道路の整備を行なうとともに、事業の透明性を確保し、また道路との密接関連施設の計画的立地誘導を図るため「道路整備10ヶ年計画」を策定し公表する。	(2) 対象(誰、何) 市民、市道の利用者 対象数 約614,000人
(3) 平成13年度事業の内容 ・道路整備10ヶ年計画パンフレット等の印刷 決算額 399,000 円 予算額 400,000 円 (参考) 道路整備10ヶ年計画パンフレット掲載の概要 ・都市計画道路 : 22路線(31箇所) 8,800m ・地区集散道路 : 21路線(29箇所) 11,632m	(4) 総合計画・実施計画における概要 なし (5) 個別計画の概要 計画名 相模原市道路整備10ヶ年計画 計画年次 13年度~22年度 ・計画に基づき道路の計画的・効率的整備を進める。 ・計画を公表することにより、各事業箇所の事業着手及び完成予定を明らかにし、事業の透明性をより明らかにする。

4 評価指標

指標名	計画の実施率	都市計画道路整備計画の進捗率	地区集散道路整備計画の進捗率
指標式	実施された着手・完成路線数 / 計画の着手・完成路線数	実施された都市計画道路整備の累積延長 / 計画の都市計画道路整備累積延長 (単位 %)	実施された地区集散道路整備の累積延長 / 計画の地区集散道路整備累積延長 (単位 %)
指標設定の意図	公表された事業の着手・完成の時期と実施された着手・完成時期とを比較し、計画の達成度を表す。	計画の実施状況を把握し、計画的・効率的な都市計画道路整備の達成度を表す。	計画の実施状況を把握し、計画的・効率的な地区集散道路整備の達成度を表す。

5 目標と実績

[金額単位:千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標			a 91.7	b 100	100	
指標			c 112.4	d 100	100	
指標			e 98.1	f 100	100	
事業費	決算(予算)額	0	399	400	0	
	人員・時間数	(3人)	(3人)	(2人)	(2人)	
	人件費	25,260	25,260	16,840	16,840	16,840
	その他経費					
	合計	25,260	25,260	17,239	17,240	16,840
特定財源						

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか															
評価 A ▼	A:達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 100.7%													
	B:一部達成していない(100%> 80%)														
	C:達成していない (80%>)														
a	91.7	b	100.0	$\times 100 = 91.7\%$	c	112.4	d	100.0	$\times 100 = 112.4\%$	e	98.1	f	100.0	$\times 100 = 98.1\%$	
理由:		道路整備10ヶ年計画の初年度ということもあり、概ね計画に則った事業実施が行なわれた。													

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A:適応している	理由:	計画的・効率的な道路の整備を行ない、事業計画の公表により事業の透明性を確保することは、説明責任を求められる時代のニーズにマッチしている。
	B:一部適応していない		
	C:適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 A ▼	A:妥当である	理由:	計画的・効率的な道路の整備を行なうため、計画策定時に費用便益費、路線機能、まちづくりの視点等から路線の優先順位を設定し整備路線を決定した。また、年次ごとの事業費の総計について検討し実現可能な計画とした。
	B:一部妥当でない		
	C:妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A:代替の可能性ない	理由:	市道の整備計画であり、県、民間等との代替の可能性は全くない。
	B:代替の可能性低い		
	C:代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 A ▼	A:満足できる	理由:	本年度については、概ね計画に則った整備が実施された。今後は、厳しい財政事情から事業進捗は、公表した計画通りの整備が難しくなるものと考えられる。
	B:一部満足できない		
	C:満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A:有効である	理由:	市内幹線道路の整備という上位の施策を進める上では、計画的・効率的な事業の推進は不可欠であり、公表による事業の透明性向上も図らなければならない。それらを実現するためには道路整備10ヶ年計画は必要である。
	B:一部有効である		
	C:有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	成果向上の余地	
	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明:</p> <p>道路の整備の計画であり、事業費を確保できれば成果は向上できる。</p>
	コスト改善余地	
	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明:</p> <p>整備路線の優先順位について、更に精査し、整備の実現性や整備効果の早期発現性に力を入れた計画に見直すことにより、費用対効果の面で優れた計画となる。</p>

7 総合評価

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較	どの自治体においても、財政事情の悪化に伴い、計画通りの事業実施が難しくなっている。また、これから計画策定を予定している自治体においても、財政上の理由から策定を躊躇している状況となっている。
	今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	説明	道路事業の計画的・効率的な実施を図り、市内幹線道路の整備を推進する上で本計画は的を得たものであり、必要と考えている。 今後の進め方としては、財政事情の変化に対応するために、中間年の5年経過時点での見直しを行なう計画であり、今後も本計画を継続し、最終的な完成を目指すものとした。
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--